

当別のあゆみ

西暦	年・月	できごと	西暦	年・月	できごと
1869	明治2.9	仙台藩一門岩出山・伊達邦直家臣一同北海道移住計画を発表	1972	47.7	養護老人ホーム入所開始
1871	4.3	第1回移住者180人出発	1973	48.11	西保育所開設
	4.4	室蘭上陸、シブヘ移る	1975	50.5	町営牧場使用開始
	4.5	トウベツ踏査	50.7	東日本学園大学(現北海道医療大学)当別キャンパス完成	
1872	5.2	第2回移住者180人出発	1976	51.11	みどりが丘墓苑完成
	5.8	当別村とする	1980	55.9	開基110年記念式典
1873	6.5	開拓使当別教育所開設	55.11	農村環境改善センター(現白樺コミュニティーセンター)完成	
1874	7.2	石狩当別新道開設	1982	57.3	阿蘇公園完成
1879	12.4	第3回移住者対雁、六軒町に250人入植	57.4	大学前駅(現北海道医療大学駅)新設	
1880	13.6	対雁道路開通	1985	60.9	当別下水終末処理場完成、公共下水道の供給開始
1881	14.8	明治天皇御巡視、伊達邦直に拝謁を賜う	1986	61.8	スウェーデン交流センター完成
1883	16.6	当別郵便局開設	1987	62.10	スウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市提携
1884	17.6	当別病院設置	1988	63.8	札幌大橋開通
1885	18.7	石狩道路開通	1989	平成元.10	総合体育館完成
1887	20.5	石狩警察署当別分署を置く	1990	2.9	開基120年記念事業、かすみ草を町の花に制定
1889	22.5	官設亜麻製造所を大川上通に設置	2.9	「道民の森」神居尻地区オープン	
1891	24.1	伊達邦直没す	2.11	JR石狩太美駅改築	
1896	29.6	土地連絡図完成	1993	5.6	「道民の森」全5地区オープン
1898	31.9	石狩川大洪水 罹災者1,415名	1994	6.11	現JR石狩当別駅舎完成、南北自由通路開通
1899	32.11	開村30年祭を挙げる	1995	7.8	石狩町(現石狩市)との境界確定
1900	33.7	当別駅運設置	1996	8.1	学校給食センター完成
1901	34.11	青山奥駅運設置	8.4	人口2万人を突破	
1902	35.4	二級町村制施行 議員12名	1997	9.10	西当別コミュニティーセンター完成
1906	39.6	西小川通57番地に役場庁舎建設	1998	10.9	当別消防庁舎完成
1907	40.4	一級町村制施行	2000	12.1	ふとみ保育所完成
1911	44.4	青山郵便局開設	12.10	総合保健福祉センター「ゆとろ」完成	
1912	45.3	三番川駅運設置	12.10	当別町130年記念事業、ふくろうを町の鳥に制定	
1916	大正5.7	阿蘇神社 村社になる	12.10	宮城県岩出山町(現大崎市)と姉妹都市盟約	
1920	9.9	開村50年祭挙げる	2001	13.9	石狩地区広域穀類乾燥調製貯蔵施設(さっぽろライスターミナル)完成
1922	11.12	電話交換開始 当別郵便局	13.10	JR「石狩川橋梁」完成	
1925	14.5	当別厚田間道路開削	2002	14.5	あいあい公園オープン
1927	昭和2.8	江当軌道開通	14.10	本通橋完成	
1934	9.11	札沼線 札幌～当別間開通	2003	15.3	国道337号「当別バイパス」完成
1935	10.10	札沼線全線開通	2004	16.5	「道民の森」青山中央地区オープン
1938	13.5	本庄陸男「石狩川」刊行	2005	17.11	光ブロードバンドが開通
1940	15.9	開村70年祭挙げる	2006	18.3	岩出山町(現大崎市)・宇和島市・当別町「友好交流の証」署名
1942	17.9	森林組合創立	18.4	当別町コミュニティバス「ふれあいバス」運行開始	
1946	21.11	選挙管理委員会設置	2007	19.4	ふれあい倉庫オープン
1947	22.7	町政施行	19.5	遊遊公園オープン	
1949	24.3	江別高等学校当別分校(現当別高等学校)開校	2009	21.7	愛媛県宇和島市と姉妹都市盟約
	24.5	江別保健所当別支所開庁	2010	22.10	当別町140年記念事業
	24.8	農地委員選挙執行	2011	23.4	認定こども園当別夢の国幼稚園開園
	25.10	開基80年記念式挙げる	2012	24.10	当別ダム完成
1951	26.9	市街大火27戸全焼	24.10	JR札沼線 桑園駅～北海道医療大学駅間電化	
1952	27.10	教育委員会発足	2013	25.3	石狩西部広域水道企業団当別浄水場通水式
	27.12	青山中央に役場臨時出張所を設置	25.11	北海道医療大学と包括連携推進協定	
1953	28.5	し尿処理事業開始	2015	27.1	当別町子ども発達支援センター完成
	28.6	簡易水道給水始まる	27.2	イメージキャラクターとへのすけデビュー	
	28.7	塵芥処理事業開始	2016	28.1	国道337号当別バイパス(延長15.4km)4車線全線開通
1958	33.12	公益質屋開業	2017	29.9	北欧の風 道の駅とうべつ開業
1960	35.9	開基90年祭挙げる	29.10	スウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市提携30周年	
1962	37.8	当別農協有線電話開始	2018	30.11	日本体育大 北海道医療大 北海道銀行 当別町が協定(スポーツ・健康づくり分野)
1963	38.4	消防本部設置	2019	31.4	認定こども園おとぎのくに開園
	38.11	公民館竣工・青山ダム完成	2020	令和2.4	JR札沼線代替バス「月形当別線」運行開始
1964	39.7	文学碑「石狩川」除幕式	2.5	JR札沼線 北海道医療大学駅～新十津川駅間 廃止	
1965	40.10	石狩当別電報電話局開局(ダイヤル式)	2.10	北海道伊達市と歴史兄弟都市盟約	
1966	41.4	簡易水道を上水道事業に改称	2022	4.3	JR札沼線新駅「ロイスタウン駅」開業
	41.12	町立常設保育所開所・当別町母子健康センター開設	4.3	当別小学校・当別中学校閉校	
1970	45.7	当別町役場現庁舎落成	4.4	一体型義務教育学校「とうべつ学園」開校	
	45.9	開基100年記念式典挙げる	2024	7.1	西当別支所開設



TOBETSU

TOWNS THAT
SAFELY SUPPORT
THRIVING FAMILIES
WITH CHILDREN

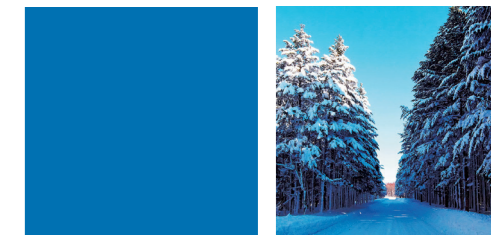


子育て世代でにぎわう
安心してらせるまち

当別



当別町勢要覧



当別町勢要覧

発行 当別町 発行日 令和7年12月

お問合せ 企画部デジタル都市推進課広報係

〒061-0292 北海道石狩郡当別町白樺町58番地9
Tel : 0133-23-2330(代表) Fax : 0133-23-3206
ホームページ <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

町長挨拶

子育て世代でにぎわう、 安心してらせる町を目指して

明治4年、仙台藩の一門、岩出山(宮城県岩出山町・現大崎市)の領主であった伊達邦直公が家臣とその家族340名を率いて入植してから150年の歴史を持つこのまちは、先人たちの開拓の努力により発展してきました。

当別町は豊かな田園風景、悠然とした自然・美味しい農産物が身近にあり、大消費地札幌市に隣接している地理的に優位性のある町です。また、町内を走るJR札沼線において20年ぶりとなる新駅「ロイズタウン駅」が令和4年3月に整備され、交通の利便性も大幅に向上していることから、経済活性化のスピードをさらに押し上げるものと確信しております。

定住人口を増やすためには子育て世帯数の増加が必至であり、教育環境の充実を図るために平成29年4月より小中一貫教育を導入し、令和4年4月には一体型義務教育学校「とうべつ学園」が開校しました。

また、都市機能と居住環境の充実を図るために、新たな医療機関の誘致、DX化の推進、住宅購入に対する支援金、西当別市街地への雪堆積場の設置、公園の大規模改修、西当別支所の開設など、未来に種をまく各種施策に取り組んでまいりました。

引き続き、さまざまな課題解決に当たるとともに、「子育て世代でにぎわう安心してらせる町」を目指し、持続可能な新たなまちづくりをこれからも進めてまいります。



当別町長
後藤 正洋

町章



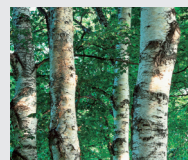
円は太陽と自然の恵みを表し、調和を意味し、円の中の「と」は当別町の頭文字で、その形態は若い世代の飛躍前進の姿を表す。

町名の由来

当別はアイヌ語「トウベツ」(沼から来る川の意)からたてたもの。

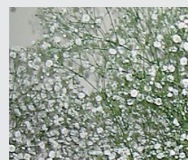
町の木

白樺



町の花

かすみ草



町の鳥

ふくろう



当別町イメージキャラクター
とべのすけ



- 種類 すずめ
- 性別 男の子
- 年齢 永遠の5才
- 誕生日 10月2日(とうべつ)
- 好きなこと チャンバラっこ
- 出身 道民の森
- 特徴 当別町の鳥である「フクロウ」にあこがれていて自分で目のまわりに白色の模様を入れている。「当」の文字がついているため、ご利益のある玉だと信じてみんなに配ったりしている。

姉妹都市 スウェーデン王国レクスンド市 / 宮城県大崎市 / 愛媛県宇和島市

歴史兄弟都市 北海道伊達市

行政基盤・生活環境・教育などの数値

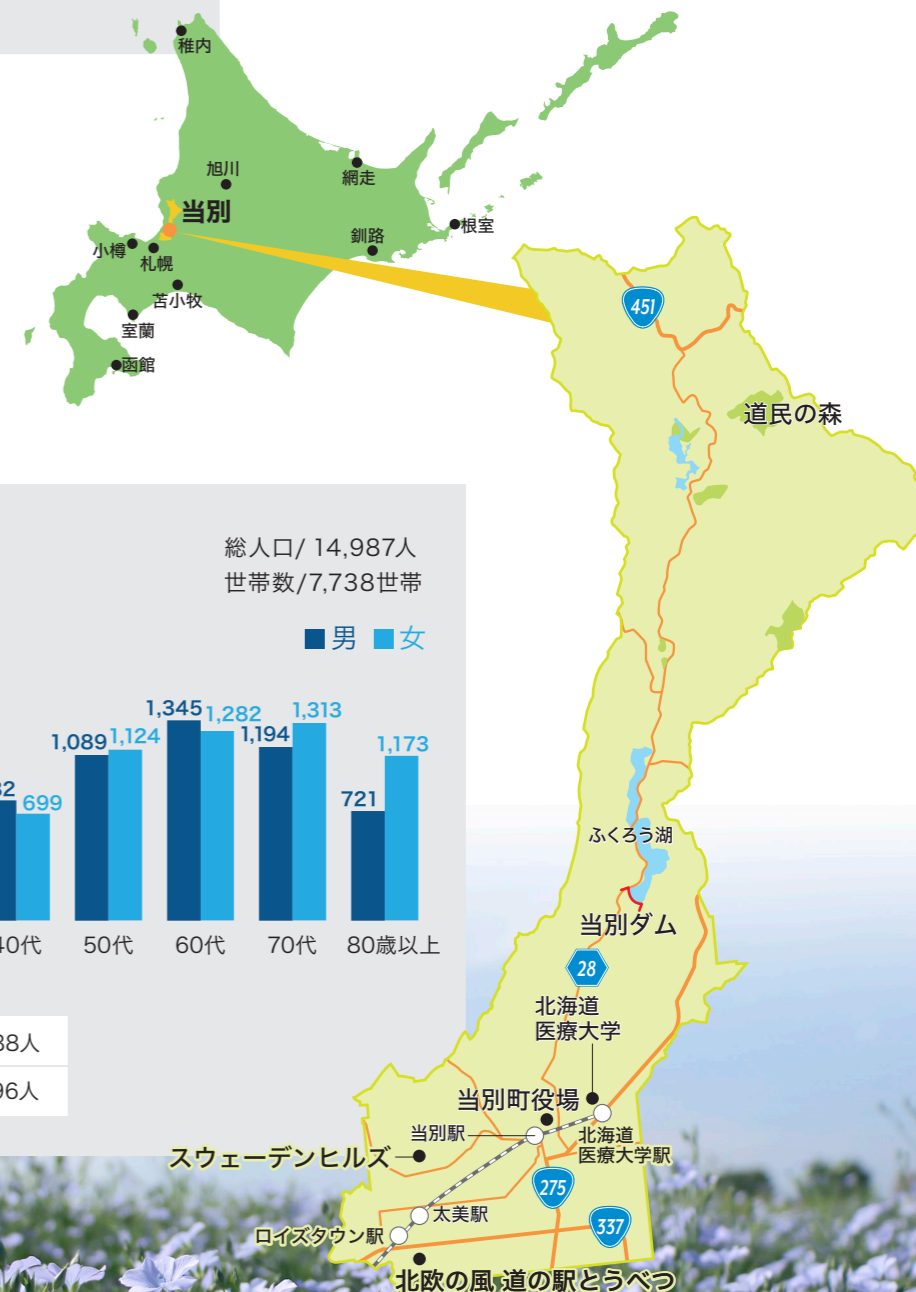
分野・項目	数値	備考	分野・項目	数値	備考		
行政基盤	歳入決算総額	140億7,005万円	令和6年度 決算資料	生活環境	ごみの総収集量	3531.600トン	
	歳出決算総額	136億4,258万円			リサイクル量	628.951トン	
	実質赤字比率	該当なし (黒字決算のため)			都市公園数	16カ所	令和6年度町調べ
	連結実質赤字比率	該当なし (黒字決算のため)			道路総延長	503km	
	実質公債費比率	9.1%			公営住宅管理戸数	378戸	
	将来負担比率	35.8%		認定こども園数	2園		
	町税	21億22万円		義務教育学校数	1校		
経済・労働	町職員数	200人	教育・保育	小学校数	1校	令和7年 4月1日現在	
	町議会議員数	15人		中学校数	1校		
	事業所数	554事業所		高等学校数	1校		
	製造品出荷額等	306億3,519万円		大学数	1校		
	第1次産業就業者数	1,082人		令和2年国勢調査			
	第2次産業就業者数	1,300人					
	第3次産業就業者数	4,932人					

当別町の位置

北端 141°35'58" 43°35'06"
 南端 141°26'15" 43°09'41"
 東端 141°43'41" 43°28'17"
 西端 141°23'53" 43°10'28"

面積

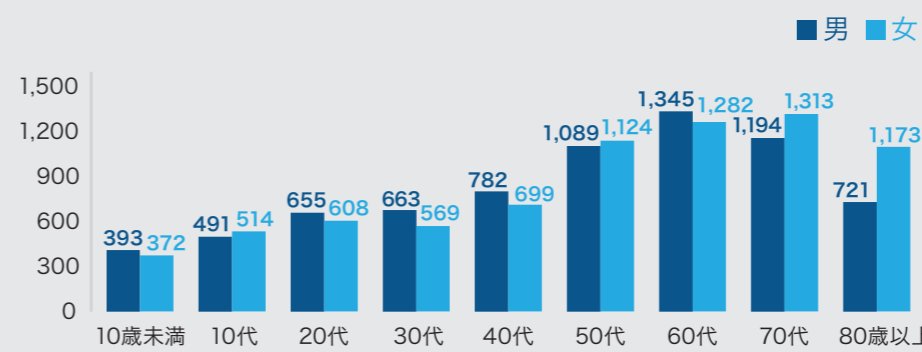
422.86km²



人口・世帯の動態

(2025年4月1日)

総人口/ 14,987人
世帯数/7,738世帯



(令和6年度のデータ)

出生数	48人	転入者数	688人
死亡数	216人	転出者数	696人

